

# 北海道防災会議地震火山対策部会火山専門委員会 議事録

**日 時** 令和5年(2023年)8月2日(水) 13:10~14:15  
**場 所** 北海道庁地下1階危機管理センター  
※関係(総合)振興局、市町村、防災機関とWEB会議を接続  
**議 題** (1) 北海道の火山の現状について  
(2) 委託研究成果報告(利尻山)

## ○挨拶(北海道総務部危機対策局 吉川局長)

本日は大変お忙しい中、中川座長、専門委員の皆様をはじめ、関係機関の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃から本道の防災行政の推進にご尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、当専門委員会におきましては、これまで、道内の活火山の活動状況について情報共有を図るとともに、専門委員の皆様から火山防災対策などにつきまして、ご助言をいただいているところでございます。

道内の活火山におきましては、今年度に入り、雌阿寒岳及び十勝岳において火口付近を震源とする火山性地震が一時的に増加するなど、火山活動の推移には注意が必要な状況であり、多くの火山を有する本道におきましては、火山災害への備えと、火山防災対策の一層の充実強化に向け、積極的に取り組みを進めていく必要があると改めて認識したところでございます。

本日の委員会では、札幌管区気象台や地質研究所から道内火山の状況についてのご報告をいただきますとともに、中川座長から利尻山の研究成果についてお話をいただく予定としております。

また、皆様には、専門的な見地からご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。

道といたしましては、専門委員会からのご助言を踏まえ、火山防災対策のより一層の充実に取り組んでまいりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、会議の開催に当たりましてご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

## ○議題(1) 北海道の火山の現状について

(札幌管区気象台気象防災部地震火山課 長山火山活動評価官)

・「資料1-1」の要旨をまとめた資料に沿って説明

(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所地域地質部 高橋主査)

・「資料1-2」の要旨をまとめた資料に沿って説明

## ○議題(2) 委託研究成果報告(利尻山)

(北海道大学大学院理学研究院 特任教授 中川委員)

・「資料2」に沿って説明

## <質疑>

### (吉川委員)

北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所より雌阿寒岳の報告をいただきましたが、気象台からも先ほど説明したとおり、6月29日から30日にかけて、一時的に地震がありました。それに関連するような観測成果があればご教示いただきたい。

### (北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所地域地質部 高橋主査)

雌阿寒岳を観測したのは6月で地震が起こる前の状態でありましたが、これまでと特別変わった傾向はなかったと考えています。

### (北海道総務部危機対策局 吉川局長)

活火山であることの確認が必要な火山が全国で7火山あるということで、中川委員に利尻山を研究・調査いただいたところですが、他の6火山についても、様々な大学等で研究を進められた確認結果を元に研究を専門的に続けていくのでしょうか。

### (中川委員(座長))

そのような研究を続けている火山もありますが、新しい火山は研究がしにくい火山で、質が悪い等の状況からデータが集まりにくい。

利尻山は調査が大変で、北海道本島の山は林道が多くできていて調査がやりやすい面があるが、利尻山はあまりなく、島であるため調査が大変なところがありました。

## ○閉会

### (中川委員(座長))

以上で本日の議題は全て終了しました。議事進行にご協力いただきありがとうございました。

### (北海道総務部危機対策局危機対策課 大西課長)

本日ご出席いただきました委員の皆様、地元市町村・防災関係機関の皆様、ありがとうございました。

直近の火山活動状況等につきまして、札幌管区气象台、北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所から御報告をいただきました。また、中川委員から非常に興味深い利尻山の御報告をいただき、引き続き調査をなされるというところでもあります。

今後も皆様と共有しながら、火山防災対策の推進に努めてまいりたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、「北海道防災会議地震火山対策部会火山専門委員会」を終了いたします。

以 上